

令和5年度 家庭科

教科	家庭	科目	ファッション造形基礎	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	ファッション造形基礎 (実教出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

衣服の構成および繊維や布の特徴を知り、自分の好みや活動にあった着心地のよい衣服を製作します。またそのために必要なさまざまな縫製の方法を知り、基本的な技術を身につけます。

2 学習の到達目標

被服の構成、被服材料の種類や特徴など被服製作に関する知識と技術を習得させ、ファッション造形の基礎的な能力と態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	実習に意欲的に取り組んでいる。	正しい採寸方法を知り、自分の体型やサイズを知る。 着用目的に応じて素材や形の選択ができる	ミシンの扱い方を身につけ、基本的な縫い方ができる。  縫製についてのさまざまな技法を身につける。	衣服製作の工程について理解できる。
評 価 方 法	プリント確認 ミシンの扱い方 基礎縫いの提出 行動観察 作品の提出 小テスト等	ミシンの扱い方 基礎縫いの提出 行動観察 作品の提出等	ミシンの扱い方 基礎縫いの提出 行動観察 作品の提出 実技テスト等	ミシンの扱い方 基礎縫いの提出 行動観察 作品の提出 実技テスト等

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和3年度以前入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	衣服の構成 衣服の素材	衣服の構成	○	○	○	○	<p>a: 衣服の基本的な構成に関心をもち、それらについての基本的な知識の習得に意欲的にとりくむ。</p> <p>衣服の材料について、その種類や特徴についての知識の取得や理解に意欲的にとりくむ態度をもっている。</p> <p>b: 人体の寸法・体型および動作による人体の寸法と形の変化を理解し、動きやすく、着心地がよい衣服について考える。</p> <p>衣服の種類やその製作を想定しながら、デザインや着用目的に応じた材料について考え、選択し、判断することができる。</p> <p>c: 衣服の製作や選択に必要な、人体各部位の計測法を習得している。</p> <p>繊維の特徴を理解し、適切に材料を取り扱うことができる。</p> <p>d: 既成服の体型区分とサイズの種類についての基本的知識がある。</p> <p>衣服の材料について、素材・繊維・糸・布の種類と特徴や加工方法について基本的知識を理解している。</p>	<p>プリント確認</p> <p>ミシンの扱い方</p> <p>基礎縫いの提出</p> <p>実技テスト</p> <p>行動観察</p> <p>作品の提出</p> <p>小テスト等</p>
		衣服製作の基礎						
		製作のための用具				○		
		布地の性質と扱い方	○	○	○	○		
		基本の縫い方			○			
		縫いしろのしまつ			○			
ミシンの使い方			○					

